

第一〇章

横川町内学校沿革史

第一節 明治初年の横川町の教育

明治維新前後、本町には中ノ麓に、いわゆる寺子屋があった。この時代には、当地の川崎半左エ門が漢学、習字の二科を教えていた。同氏の没後、折田五左エ門が後任となった。

郷校時代には鹿児島から漢学教師、伊藤新兵衛を招き、助教授に折田五左エ門、古田彦左エ門、伊地知小之進の諸氏が当たった。これは明治四年（一八七一）からのことである。次に加治木から漢学教師として、大内山十蔵、竹下貞永、市来新兵衛、洋算教師として、神村竹五郎、前田平蔵、白尾伸太郎の諸氏を招いた。このとき教授に折田甚平、橋口奎之助、田上五兵衛、上野廉行、林甚十郎の諸氏がいたが、これは明治八、九年ごろのことである。

第二節 学校の沿革

(一) 横川小学校

年	記	事
明治 四年	郷校創立（光雲寺東隣）	
〃 九年	九月、横川小学校と改称	
〃 一〇年	二月、西南役のため、約一〇か月間学級閉鎖	
〃 二〇年	四月、横川高等尋常小学校と改称	
〃 二一年	四月、中ノ諏訪（宮下）に校舎移転	
〃 二六年	一月、橋口奎之助初代校長に就任	
〃 二八年	一月、上野信、二代校長就任	
〃 三〇年	七月、草野藤吉、三代校長来任	
〃 三一年	一月、西校舎増築落成	
〃 三九年	一月、下島平八、四代校長就任	
〃 四四年	九月、女子実業補習学校付設	
	四月、中摩源吉、五代校長来任	
	六月、校舎（東）増築	
大正 二年	一月、川上直信、六代校長来任	
〃 六年	五月、松下雅信、七代校長来任	
〃 九年	美坂吉之助八代校長来任	
	川崎涉、九代校長来任	



横川小学校

年	記 事
大正一二年	二階新校舎落成
〃 一五年	高等科三年制実施
昭和元年	一二月、東哲雄、一〇代校長来任
〃 三年	ラジオ備え付け
〃 六年	九月、柿市親則、一一代校長来任
〃 七年	五月、上ノ山運動場拡張工事落成 一〇月、中ノ婦人会よりピアノ寄贈 一月、県から「教育の地方化、郷土化」について研究指定を受く。 郡北部武道武徳会に高男優勝 五月、同、高二、三年共に優勝 九月、サイレン設置（森山清志寄贈） 一二月、県主催「教育の郷土化実際化」公開 松永緑、一二代校長来任 三月、講堂備品並びにラジオ拡声機設備（後援会寄贈） 稲森植資、一三代校長来任 三月、前田友二、一四代校長来任 八月、鹿児島新聞社読書即席会入選者二三人 一一月、県主催郡南部健児団大会 郡北部剣道大会高二、三年優勝 四月、横川国民学校と改称 五月、横川国民学校少年団結成 八月、全国書道展、金賞二、銀賞一、銅賞一 一二月、郡主催芸能科教育研究会開催
〃 一六年	

第2節 学校の沿革

一七年	一〇月、郡主催少年団研究会開催
一九年	一二月、横川海洋少年団発団式
二〇年	三月、話し言葉教育成績優秀県知事より表彰 さる。
	五月、二部授業制をとる。
	五月、鋒ス第一三五五四部隊の屯所となる。
	六月、横川国民学校学徒隊結成
	七月、米機当町来襲
	八月、終戦、共同宣言受諾の詔書頒発
二二年	四月、有馬純雄、一五代校長来任
二二年	五月、横川小学校と改称、高等科は横川中学校として分離
	学校自治会結成
二三年	二月、横川小学校父母と先生の会結成
二四年	四月、深栖直武、一六代校長来任
二五年	一〇月、宿直室改築北便所移転改築
二六年	一月、国旗掲揚台備え付け
二七年	一〇月、裁縫室新築
	一月、校舎裏砂防工事完了
	一〇月、拡声機、電蓄購入
二八年	一二月、西便所新築
	四月、岡元虎雄、一七代校長来任
	一〇月、水道工事完了（竹水道）
	一一月、講堂暗幕設備
二九年	三月、郡主催視聴覚教育研究公開
三〇年	一〇月、鉄管水道工事竣工
三一年	一一月、校旗制定

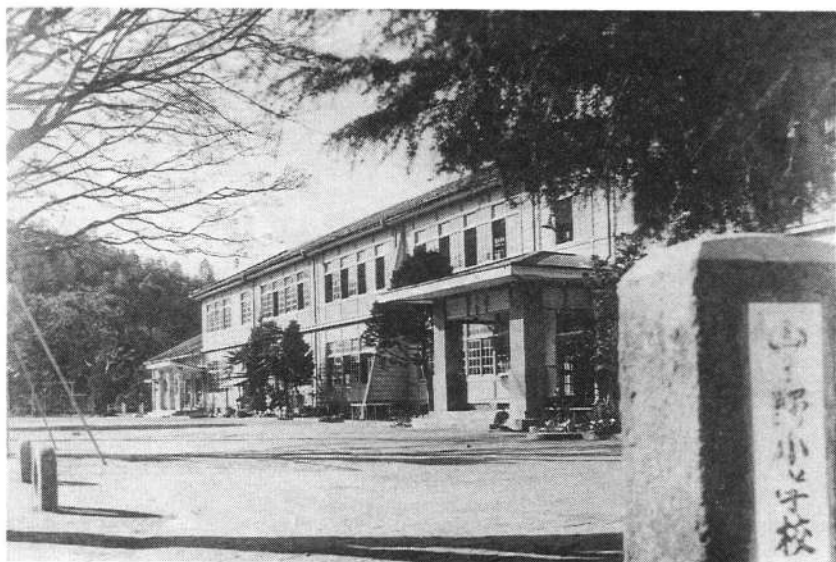
昭和三年	三月、小磯友一、一八代校長来任
	五月、県教育委員会から特殊教育研究指定校 委嘱を受け、実験学級開設。鹿児島大学教 育学部から協力学校の委嘱を受ける。
三三年	七月、学校図書館を裁縫室に移し、専任の司 書補を置くことにした。新校歌制定
	五月、鉄筋校舎一期工事六教室竣工
	八月、プール完工
三四年	四月、鉄筋校舎二期工事、九教室竣工、全児 童新校舎へ移転
三五年	三月、鉄筋校舎三期工事三教室竣工
	六月、新講堂落成
三六年	二月、小鳥舎（八反田福エ門寄贈）及び大噴 水完成
	六月、北海道帯広西小学校との図画姉妹校と なる。
三七年	四月、山下茂樹、一九代校長来任
	五月、皇太子夫妻奉迎
	学校給食A型開始、給食室完備
三八年	九月、鹿児島県図画展会学校賞受賞
三九年	七月、鼓笛バンド一式、村田芳忠（PTA会 長）寄贈
	九月、学校環境緑化コンクール優秀校として 表彰状を受ける。
四〇年	六月、MBC学校めぐり録音放送
四二年	一月、文部省指定教育課程（図工）研究校
	八月、姉妹校北海道帯広西小へ親善訪問

年	記 事
昭和四三年	四月、坂元友男、二〇代校長来任
〃 四五年	三月、給食車道及び給食車開通
〃 四七年	四月、宮元一雄、二一代校長来任
〃 五〇年	一月、チーフトン芝生植え付け
〃 五一年	二月、帯広西小学校長、PTA会長来訪
〃 五二年	四月、竹原繁美、二二代校長来任
〃 五三年	八月、補助プール及び附属施設完成
〃 五四年	六月、百周年記念碑建立、百周年記念ケヤキ (二代目)植樹
〃 五五年	九月、百周年記念式典
〃 五六年	四月、山田定春、二三代校長来任
〃 五七年	一月、講堂の床張り替え
〃 五八年	八月、校舎窓サッシ化完了、校舎外装全面塗 装
〃 五九年	二月、給食センター移転改装
〃 六〇年	四月、岩園忍、二四代校長来任
〃 六一年	二月、水洗便所完成
〃 六二年	七月、屋内運動場起工式
〃 六三年	八月、一輪車二〇台購入及び練習用手摺施設
〃 六四年	三月、屋内運動場落成、講堂解体
〃 六五年	一月、ワイドプロセッサ二台購入
〃 六六年	二月、校門前目隠し壁工事
〃 六七年	四月、芝貞夫、二五代校長来任
〃 六八年	円型ハンド棒、アーチ肋木、すべり台、ブ

年	記 事
明治一二年	四月、金山小学校創立
〃 一八年	高木分教場設立
〃 一九年	金山尋常小学校
〃 二二年	八月、校舎改築落成
〃 三六年	一月、高等科併置、校舎七教室落成
〃 四一年	女子実業補習学校設置、敷地拡張、二教室 及び講堂増築
〃 四三年	三教室増築
〃 四五年	学林地設置(下松川)
〃 一三年	運動場新設
昭和 九年	奉安殿落成、ピアノ購入

(二) 山ケ野小学校

年	記 事
〃 六二年	ランコ設置
〃 六三年	六月、体育館横橋の架け替え
〃 六四年	七月、パソコン一台購入
〃 六五年	四月、パソコン一台購入
〃 六六年	七月、校内内部大規模改修
〃 六七年	一月、新信号機正門前に設置
〃 六八年	四月、芝貞夫校長、町教育長へ転任
〃 六九年	四月、南茂美二六代校長来任



統合前の山ヶ野小学校

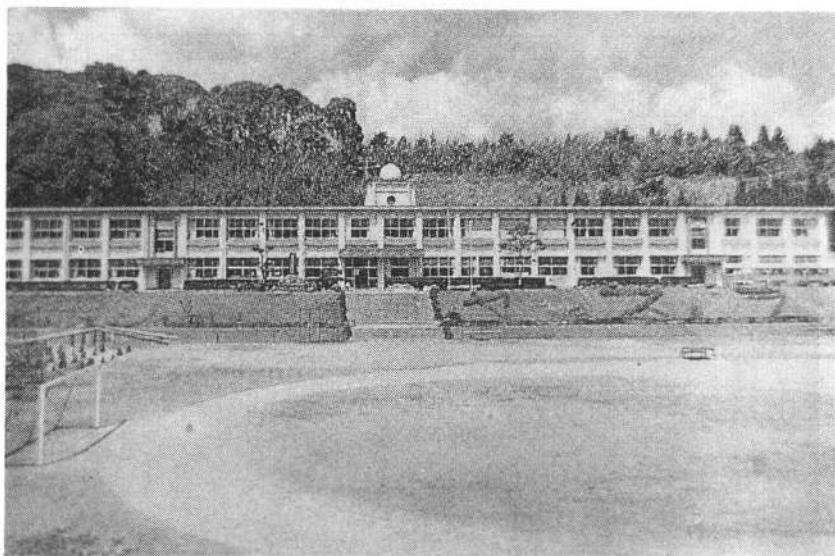
昭和二年	二階建て校舎落成
一六年	山ヶ野国民学校と改称
二二年	山ヶ野小学校と改称、新制中学校横川二中併設
二三年	電話架設、土砂崩れて旧校舎全壊
二五年	県営治山工事
二六年	校内放送施設、学校林増設
二七年	幻灯購入
二八年	職員室前に池設置、白アリ駆除
二九年	学校図書館創始、体育用具整備
三〇年	学林植栽、拡声機・テープレコーダー購入
三一年	ピアノ購入
三三年	テレビ購入
三四年	創立八十周年記念式典
三七年	四月、講堂落成
三八年	一〇月、完全給食実施
三九年	八月、プール落成、正裏門改修
四〇年	二月、鼓笛隊楽器購入
四一年	一〇月、上運動場給水施設
四六年	四月、学校周囲植樹 九月、プール用すべり台、上運動場低鉄棒施設 四月、山ヶ野小学校廃止、安良小学校へ統合

山々野小学校歴代校長

代	氏名	発令年月日
初	橋口 李之助	明治一九年五月二九日
二	上野 信	二三年五月一〇日
三	松田 仲一郎	三三年一月一日
四	徳留 市次	三八年三月一日
五	美坂 吉之助	四四年三月一日
六	福留 経武	大正六年三月一日
七	西別府 久雄	九年三月一日
八	戸高 泰四郎	一一年一月二五日
九	小城 素	一二年三月一日
一〇	内村 矢市	一三年三月一日
一一	延時 季義	一五年三月一日
一二	小川 宏	昭和三年三月一日
一三	永山 涉	八年三月一日
一四	桜井 俊男	一二年三月一日
一五	岩切 実義	一六年三月一日
一六	肥後 秀雄	二一年三月一日
一七	石川 敏	二二年四月三〇日
一八	山口 熊吉	二七年四月一日
一九	戸高 友次	三二年四月一日
二〇	原田 時義	三六年四月一日
二一	中村 安次	四〇年四月一日
二二	小段 富好	四三年四月一日

(三) 安良小学校

年	記 事
明治一四年	横川町上ノ村小学校設立
二三年	上ノ村小学改築
四二年	三月、現西校舎落成
四五年	前田嘉太郎校長就任
大正 八年	四月、玉利太郎介校長就任
一二年	四月、上田橋七次校長就任
一三年	四月、早淵秀雄校長就任
一四年	六月、現東校舎落成
一五年	四月、高等科併置
昭和 二年	安良尋常高等小学校と改称
六 年	四月、大尾駮五郎校長就任
九 年	四月、市来豊国校長就任
一六年	四月、安良国民学校と改称
一七年	四月、森園軍蔵校長就任
二二年	四月、江田久米治校長就任
二五年	六・三・三制により、安良小学校と改称
三一年	四月、小川健三校長就任
三二年	三月、新校舎落成
三三年	四月、小麦田幸男校長就任
三四年	九月、校庭拡張第一期工事
三五年	四月、運動場拡張第一期工事
三六年	四月、二教室増築



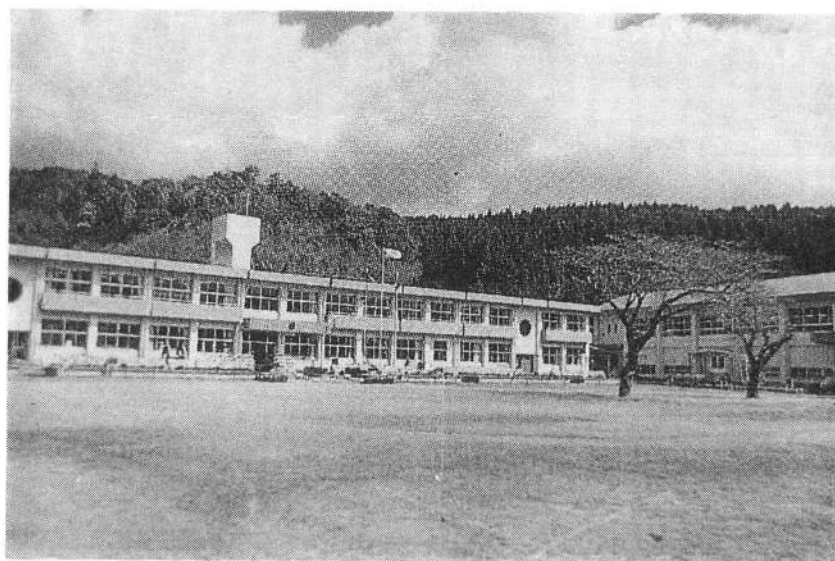
安良小学校

昭和三十四年	九月、運動場拡張二期工事
〃 三十五年	三月、安良公民館完工（一〇七坪）
〃 三十七年	四月、平峯敬一、一三代校長就任
〃 三十八年	七月、プール完工、給食室完工
〃 三十九年	四月、上野光夫、一四代校長就任
〃 四〇年	高木小学校、本校に統合される。
〃 四一年	六月、鼓笛隊設置
〃 四二年	二月、校歌制定
〃 四三年	八月、西校舎解体
〃 四四年	四月、校庭前護岸工事竣工
〃 四五年	六月、鉄製ブランコ設置
	一一月、校舎一部移転（横川中学校へ）
	一一月、校庭体育目標板、観察池、水草園設置
	二月、記念そてつ園、サンゴ礁見本園、つつじ記念植樹
〃 四六年	四月、杉尾透、一五代校長就任
〃 四七年	一一月、たい肥舎、温室竣工
〃 四八年	三月、体育倉庫、上校舎渡り廊下、便所改修
〃 五〇年	四月、山ヶ野小学校が統合される。
〃 五一年	六月、学校周囲鉄柵金網設置
	八月、東便所への通路かさ上げ、給食車通路の舗装
	四月、須賀立雄、一六代校長に就任
	六月、学校田埋め立て、駐車場となる。
	二月、校内駅伝に親チーム生まれる。
	三月、プール用水工事竣工

年	記 事
昭和五四年	五月、プール内装工事行う。 十一月、財団法人日本水泳連盟より学童優秀校として表彰を受く。
// 五六年	四月、上校舎解体 五月、上校舎跡造成開始（樹木など移転移植） 七月、新校舎起工式
// 五七年	二月、新校舎へ移転 三月、新校舎落成式と創立百周年式典を盛大に挙行する。
// 五九年	五月、新校舎前緑化植樹と花園設置 三月、屋内運動場落成祝賀式 七月、プール用水道完成
// 六一年	八月、校門門柱設置及び正門道路舗装完成
// 六三年	一二月、学校周囲金網工事、屋上ひさしコンクリート工事
平成 元年	二月、体育館ステージ後幕設置 六月、校舎裏及び駐車場舗装工事、補助プール完成
// 二年	三月、体育施設、安良が丘すべり台補修工事完成

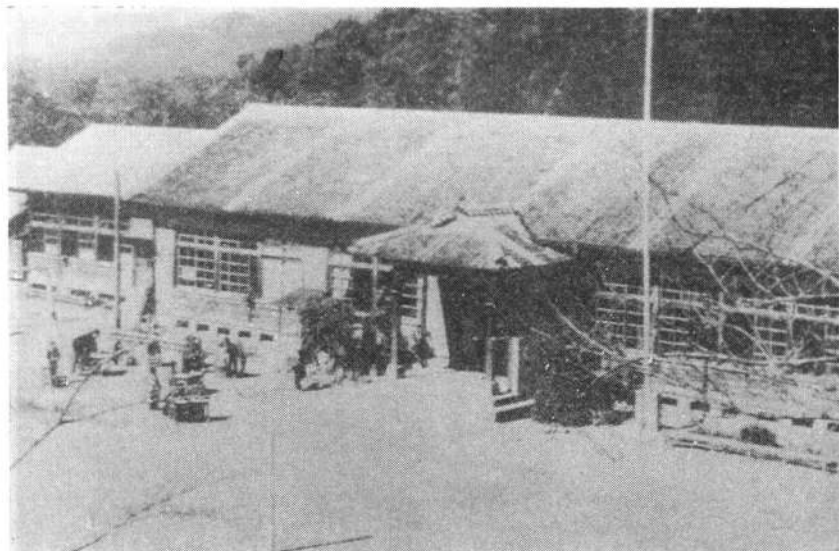
(四) 佐々木小学校

年	記 事
明治一一年	庄屋役所表座敷にて教授のはじまり、麓方面教師一名ずつ輪番通勤
// 一五年	下之村小学と改称、森山要一、授業生（満三年）
// 二五年	伊地知孫兵衛、授業生、のち校長来任（一四年一―一か月）。下原尋常小学校と改称
// 三二年	修業年限四か年制となり、新校舎一教室落成（下住宅地に）
// 四〇年	三月、和志武彦、校長来任（五年五か月）
// 四一年	修業年限六年制となり、新校舎一二坪増築（下住宅地）
// 四三年	三学級編制一教室増築（下住宅地）
// 四四年	裁縫室及び事務室落成（下住宅地）
// 四五年	八月、川崎長彦、校長来任（一五年八か月）
大正 五年	実業補習学校併設
昭和 二年	四月、校地拡張四教室新築落成（現在の前庭）
// 三年	三月、棚橋喜次郎、校長来任（二か年）
// 五年	三月、山口一世、校長来任（一五年）
// 一一年	四月、高等科併置
// 一五年	佐々木尋常高等小学校と改称
// 一六年	四月、佐々木国民学校と改称、電話架設



佐々木小学校

昭和二十年	
三月、武校長来任（二か年）	
五月、沼口龍雄、校長来任（一か月）	
三月、戸田熊吉、校長来任	
三月、新垣信、校長来任（四年）	
校地拡張、四教室移転新築落成	
四月、大高敬次、校長来任	
特別教室（講堂）、家事室新築落成、国旗掲揚台設置	
グラウンドピアノ購入、水道施設一期工事完了、暗幕設置	
水道二期工事完了、教室用カーテン設置	
校地拡張、プール完成	
学校林設置、給食開始	
理科室増築	
五月、学校給食六日制を五日制に変更	
十一月、大崩学校林売却	
八月、SL動輪貸与設置	
四月、三、四年複式学級	
八月、家庭調理室完成、後校庭舗装工事、校舎南側壁塗装	
六月、体育中心校として体育施設設置	
十一月、創立百周年記念式典、記念文庫（七〇万）、校旗（三三万）、記念碑（四〇万）	
設立	
三月、新校舎落成式、祝賀会	
三月、屋内運動場落成式	
九月、国旗掲揚台設置	
五六年	
五八年	
六一年	



統合前の高木小学校

年	記 事
明治 二年	五月二日、佐野筑右衛門（佐野卯之助厳父）が自宅に塾を開き、漢文と習字を教えたのが白仁田（旧高木校区）における集団教育のはじまりである。塾頭佐野竹之助、金山の子弟が多く教えを受け、薩藩のかわみなみ氏がときどき来て教えた。西南の役後、竹之助に替わって塾主となり、佐藤三

(五) 高木小学校

代	氏 名	期間	代	氏 名	期間
二	田子山 実徳	四年	六	今村 恭博	一年
三	森 虎 夫	三年	七	上田 橋 嵩	二年
三	吉 川 義 則	五年	八	長 濱 兼 満	四年
四	松 原 秀 夫	四年	九	大 野 良 美	四年
五	小田原 博 人	二年	一〇	岡 元 国 夫	現

歴代校長

年	記 事
平成 元年	四月、児童数五七人、五学級、県費職員八人（三、四年複式）、日本語教育担当職員配置打ち切り、県費義護教諭配置



横川中学校

年	記 事
昭和三年	五月一日、横川町立横川第一中学校として創立、今村嘉次郎、校長に就任
〃 一三年	九月、後援会創立、本村伊太郎、会長就任 二月、PTA創立、角元謙吉、会長就任 本村伊太郎、水田一反歩寄贈 五月、原 勲、校長就任 八月、校舎一期工事完成

(六) 横川中学校

明治一八年	之助が塾頭となった。竹之助はのちに有尾田と改姓し、三之助はのちに桐原と改姓した。
〃 二一年	一月七日、高木分教場新設
〃 二四年	高木簡易科公立小学校
〃 四五年	尋常小学校認可
昭和五年	三月、移転改築
〃 六 年	三月、高木小学校廃止、山ヶ野小学校高木分教場設置
〃 一七年	四月、四年まで延長
〃 二二年	四月、山ヶ野国民学校高木分教場と改称
〃 二六年	四月、山ヶ野小学校高木分教場と改称
〃 三一年	四月、高木小学校独立
〃 三二年	運動場拡張
〃 三八年	便所改築
	三月、高木小学校廃止、安良小学校へ統合

年	記 事
昭和二十四年	<p>一二月、放送施設設置</p> <p>三月、電話架設、横川局一七番</p> <p>六月、井戸完成、子供銀行開設</p> <p>一二月、全校放送施設一期工事完成</p> <p>七月、全生徒新校舎へ移転（当時まで小学校にて分散教育）</p> <p>九月、職員室・校長室、新校舎へ移転、推肥舎完成</p> <p>九月、放送施設二期工事完了</p> <p>一〇月、校舎配電工事完了、ピアノ購入、校舎二期工事完了</p> <p>一二月、子供銀行優良子供銀行として、知事より表彰。学有林二町歩設定</p> <p>九月、郡内角力大会優勝</p> <p>一二月、北校舎防火塗装完了、音楽室完成</p> <p>四月、一森義治、校長就任</p> <p>五月、創立五周年式</p> <p>六月、保健室・宿直室・使丁室完成</p> <p>一二月、県下女子ハンドボール大会優勝</p> <p>三月、学校保健優良校として表彰</p> <p>七月、郡内卓球大会女子部優勝。村田芳忠文庫寄贈二〇万円</p> <p>一二月、県下ハンドボール大会女子優勝</p> <p>五月、校舎一教室増築完成</p> <p>五月、PTA会長、中園秀雄就任</p>
昭和二十五年	
昭和二十六年	
昭和二十七年	
昭和二十八年	
昭和二十九年	
年	記 事
昭和三十一年	<p>七月、北部排球大会男子優勝</p> <p>一二月、県下ハンドボール大会男女優勝</p> <p>五月、校舎三教室増築工事完成</p> <p>七月、北部ソフト大会（女子）</p> <p>一二月、県ハンドボール大会女子優勝</p> <p>三月、ボンブ井戸竣工</p> <p>四月、吉村吉三、校長就任</p> <p>六月、北部教職員バレー大会優勝、北部ソフトボール大会女子優勝</p> <p>七月、北部バレー大会男子優勝、郡卓球大会男子優勝</p> <p>一二月、県ハンドボール大会女子優勝</p> <p>四月、PTA会長、春園庄次郎就任</p> <p>七月、プール竣工式、寺園知事来校。県高校水泳大会（二日間）</p> <p>九月、文部省学力テスト抽出校指定実施</p> <p>一二月、県主催体育実技講習会（本校）</p> <p>一二月、県ハンドボール大会女子優勝</p> <p>四月、五代校長、竹之内一男就任</p> <p>九月、校歌制定</p> <p>三月、音楽室完成</p> <p>四月、特殊学級開設</p> <p>一〇月、校旗制定</p> <p>六月、体育館落成</p> <p>四月、六代校長、篠崎真七任命</p>
昭和三十三年	
昭和三十四年	
昭和三十五年	
昭和三十六年	
昭和三十八年	
昭和四〇年	

第2節 学校の沿革

昭和四三年	四月七代校長、長谷川武夫任命 四月、横川中、向陽中統合により横川中学校 になる。
〃 四四年	一代校長、長谷川武夫任命
〃 四五年	五月、運動場拡張工事完成
〃 四六年	三月、相談室完成、スクールバス待合所完 成、資料室完成、理科準備室改造
〃 四七年	四月、二代校長、三浦寅夫任命 一月、新校舎落成会、校歌発表会（旧横川 中学校校歌を新横川中学校歌に制定）
〃 四九年	四月、三代校長、浜上直義任命
〃 五一年	四月、全学級スチール制一人机完備
〃 五二年	四月、四代校長、川原 廣任命
〃 五四年	四月、五代校長、室屋一雄任命
〃 五五年	五月、正門掲示板設置
〃 五六年	一〇月、テニスコート三面新設
〃 五七年	六月、全普通教室にテレビ設置
〃 五八年	四月、六代校長、中川正隆任命 九月、ピアノ購入
〃 五九年	八月、サーキットコース施設工事完成
〃 六〇年	一二月、七代校長、原園明男任命
〃 六一年	二月、L.L教室器械設置工事完成
〃 六二年	一二月、生徒用更衣室工事完成
〃 六三年	二月、非常階段改修 七月、八代校長、若松博任命 八月、特別教室床張り替え 三月、生徒玄関前庭舗装工事
平成 元年	

(七) 向陽中学校

年	記 事
平成 元年	一〇月、校舎クリーニング工事
〃 二年	三月、体育館ステージ暗幕取替工事
昭和三年	四月、下浦豊吉氏、初代校長任命 五月、学制改革により横川町上ノ地区を校区 として創立、横川町立第二中学校と称す。
〃 一三年	三月、二代校長、永山吉雄任命 一〇月、第一期工事完工、電話架設、安良教 場を新校舎に
〃 二四年	五月、校名変更、横川町立向陽中学校と称 す。校章バッジ制定
〃 二五年	七月、三代校長、田原虎熊任命
〃 二六年	八月、二期工事完工、山ヶ野教場を本校に 九月、ピアノ購入
〃 二七年	九月、拡声機購入 一二月、三期工事完工
〃 二八年	二月、鹿教組文化祭の音楽会に郡代表として 出演 四月、四代校長、柏木年成任命 一〇月、運動場の拡張完成 四月、五代校長、吉村吉三任命 八月、農舎落成

年	記 事
昭和三〇年	八月、県バレー大会に郡代表として男子チーム出場
三一年	三月、四期工事完工
三二年	四月、六代校長、黒木盛進任命
三三年	七月、プール施設完備
三四年	四月、七代校長、川野睦雄就任
三五年	六月、文部省産業教育研究指定
三六年	三月、校舎拡張工事完成
三八年	四月、八代校長、長谷川武夫就任
三九年	九月、体育館建築工事完了
四二年	一月、環境緑化優秀校として表彰さる。
四四年	四月、九代校長、坂元友男就任 四月、向陽中学校廃止、横川中学校と統合

(ハ) 栗野高等学校横川分校

年	記 事
昭和三三年	三月、鹿児島県単人高等学校、横川教場として設置認可、横川町立青年学校校舎校具を使用（横川町崎山）、別科、農業、建築、木材工芸、家庭科の四課程を置く。校長柳田精蔵、教場主任富田栄助、設置者横川町長、万膳要

年	記 事
昭和三三年	四月、第一回入学式、入学者一〇五人 一月、PTA結成、会長岩崎秀雄、副会長滝下金蔵、久仁郷美彦 一月、定時制課定廃止統合に基づき建築科生徒募集停止
二五年	一月、横川町崎山、旧青年学校校舎を横川町中ノ二五番地に移転 三月、校名変更により、栗野高校横川分校となる。
二六年	校長山口満徳、主事中山府良臣 別科木材工芸科を本科に切り替え昇格 三月、定時制課定廃止に基づき、農業科生徒募集停止
二七年	一月、横川町高等学校教育振興会結成。会長吉永栄吉、副会長万膳要
二八年	三月、校地二五〇坪買収、校舎二教室（五〇坪）増築落成
二九年	一月、校地二六〇坪買収 八月、家庭科、特別教室上棟式六三坪 一月、家庭科特別室新築及び木材工芸実習場、機械工場、宿直室小使室移転落成
三一年	三月、家庭科生徒募集停止。主事、中別府良臣栗野本校へ転任、主任山下茂一
三二年	三月、校長山口満徳、東郷高校へ転任、第二代校長として末吉高校から桑幡元長就任。

昭和三四年

主任山下茂一、指宿高校へ転出、後任として指宿高校から津崎春加着任
三月、栗野高等学校横川分校廃校